

# 播種の準備

## 1. 種子の準備

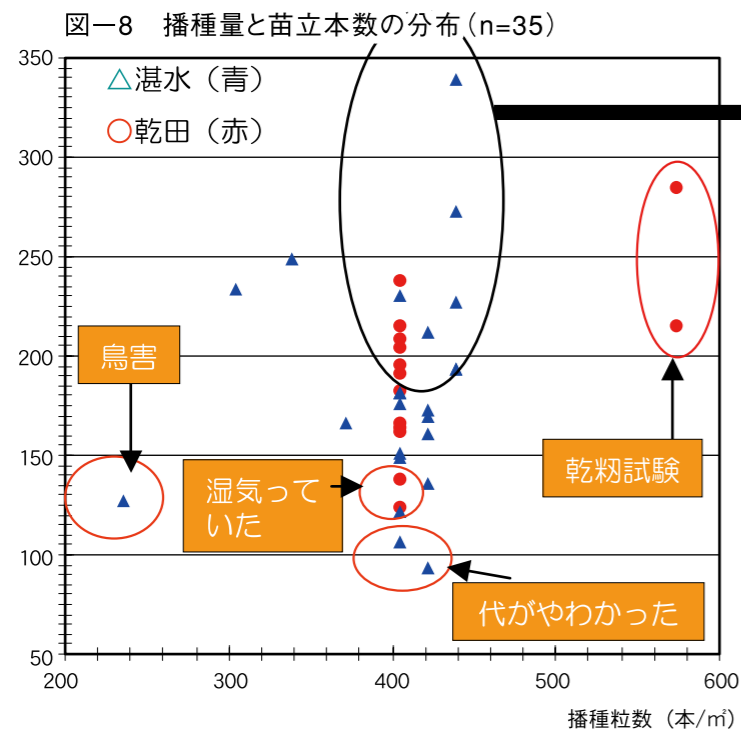
- (1) いわみざわ地域では低コストを目指すためカルパー粉衣は行わない。
- (2) ハト胸催芽を守る。



### Point

- ① 消毒・浸漬は移植と同様に行う(温湯消毒も可)
- ② 直播種子の催芽時期は気温が上昇してくるので要注意!(芽が伸びやすい)
- ③ 播種前日には陰干すること(濡れていると、ホッパーから落ちづらい)

苗立本数 (本/m)



項目	乾田	湛水
最大値	284	339
最小値	124	94
平均値	192	185
標準偏差	41.2	56.7

- < 苗立ち良好な人は >
- 1 入水量は少ない傾向
  - 2 メリハリのある管理
  - 3 再入水は暖かい日

表-12 籾重量と平米あたり播種粒数

播種量 乾 籾 kg/10a	播種量 吸水籾換算 kg/10a	播 種 粒 数 粒/m <sup>2</sup>
7.0	8.9	236
8.0	10.2	270
9.0	11.4	304
10.0	12.7	338
11.0	14.0	372
12.0	15.2	405
13.0	16.5	439
14.0	17.8	473
15.0	19.1	507
16.0	20.3	541
17.0	21.6	574

## 2. 播種後は必ず播種量・施肥量を確認しよう!

- (1) 播種後に実際に使用した種子と肥料の量を調べて、10a当たりの播種・施肥量を計算してください。(栽培管理の基礎データとするため)
- (2) 種子と肥料は余裕を持って準備しよう。



< 播種量の目安 >  
 湛水は8~12kg/10a  
 乾田は12kg/10a

※ 換算条件: 品種は大地の星、干籾量29.6g、吸水率27%

# 播種精度を高めるコツ (湛水直播)

## 1. 湛水直播 (自走式・施肥播種機)

- 1 いわみざわ地域では条播機を基本とします。
- 2 基本的な操作は田植機と同じです。
- 3 代掻きは堅めで、できるだけ入水量を少なくし、作業を行ってください。



### 2 m 走行し実測

作業機を上昇させ、2m走行し、落ちる種子と肥料の重量を測定し調整。メジャー、カップ、測りが必要。

ゲージの調整は2カ所で播種と施肥があり、から調整をする。

### Point 1

センサーが播種の詰まりを感知すると警告音なる。

⑥

有効作業幅 3 m

作業可能速度  
3 ~ 5 km/h

### Point 2

播種溝が見え、種子が見える程度がベスト。  
播種深度  
(5mmの状態)

### Point 3

土壌の硬さに合わせて5段階の覆土調整がレバー操作で可能。

### Point 4

肥料詰まり、補充もセンサーが感知し、警告音なる。

畝幅20cm×8  
30cm×2



汚れがひどい場合センサーが狂う。要洗浄。

操作や調整は簡単!

種子がこのように見える程度がベストな状態です。